

日本性科学会 ニュース

第17巻第3号

平成10年(1998年)9月

発行人:野末 源一 印刷所:絢文社

第18回 日本性科学学会開催予告

第18回日本性科学学会総会ならびに学術講演会を下記のように予定しています。奮って御来沖下さいますよう御案内申し上げます。

期 日 平成10年10月23日(金) 8:55~16:30 ・ 24日(土) 9:00~17:00

場 所 沖縄郵便貯金会館(メルパルク沖縄) 那覇市松川20 TEL 098-887-5000

会 長 石 津 宏(琉球大学医学部精神衛生学教授)

メインテーマ 「性障害の Comprehensive Approach (包括的接近) - 医学的, 心理学的, 社会文化的立場から -」

——10月23日(金)——

I 特別講演(“性”は“脳”なり)

「脳と性-男性」 熊 本 悦 明(札幌医科大学泌尿器科名誉教授)

II トピックス

「アメリカにおける骨盤内神経剥離手術の現況」 小 川 由 英(琉球大学泌尿器科教授)

III 会長講演 「性の心身医学」 石 津 宏

IV 海外招聘特別講演(マレーシアより招聘) Dr. Mat Saat Bin Mohamed Baki, Ph. D. (Associate Professor of Department of Psychiatry, National University of Malaysia, Service Department)

V 特別テーマ 「性同一性障害をめぐって」(性同一性障害と同性愛: 脳と心)

基調講演 新 井 康 充(順天堂大学医学部解剖学教授)

シンポジウム (演者選考中)

——10月24日(土)——

I 特別講演(“性”は“脳”なり)

「脳と性-女性」 玉 田 太 朗(自治医科大学産婦人科名誉教授)

II パネルディスカッション「青少年の性-健全な性を目指して」

1. HIV感染をいかに防ぐか 座長 武 田 敏(千葉大学教育学部教授)

2. 援助交際をめぐる諸問題

III 教育講演「環境ホルモン(内分泌攪乱物質)について」 武 居 洋(琉球大学医学部教授)

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町上原207 琉球大学医学部精神衛生学教室内

第18回日本性科学学会事務局 担当: 與古田孝夫, 謝花 千秋

TEL 098-895-3331(内線)2653 FAX 098-895-2841

Vol. 17

No.
3

日本性科学会

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館3F

長谷クリニック内

TEL 03(3475)1780 FAX 03(3475)1789

夢 と 性

東京ユング研究会・相談室 早乙女 紀代美

夢の中の性表現について

フロイトは夢を抑圧されている無意識的な観念や願望（特に性的な欲求）が自我の検閲により、形をかえたものと考え、夢に表れた表現を記号的にとらえ性的なものに還元して解釈する傾向があるが、ユングは夢を「無意識内容の現実状況を、象徴形式で、自発的に自己表現したもの」ととらえた。したがって、夢の中に表現される性的なもの、性的な関わりも象徴的なものとして解釈し、その背景にあるものの意味を考える。

一般的には、性的な関わりを自分とは異なる異質な要素の統合と解釈し、夢見者の個性化プロセスの道のりと考える。

ほとんどの来談者は、性的なことを問題視して、相談室を訪れることはない。たいていは、夫や妻の問題、自分と子どもとの問題、自分と親の問題として、自分の人間関係、自分の将来を考えるなどということによって来室されることが多い。その中で、自分の性に関しての問題が語られることはほとんどないが、性的な夢の報告があったとき、夢の中に表れた性的な状況を象徴的に解釈するばかりではなく、現実の自分の夫、妻、異性と自分の関係に引き寄せて、自分にとっての性について考えることによってかかえている問題が改善されることがある。

報告された夢を具体的に述べることはできないが、性に関しての夢のパターンのいくつかを紹介すると、

- ・裸の自分（女性）が台の上に横たわっている。その自分を何人かの男がシゲシゲと眺めている。
- ・結婚して何年にもなるが、実家で夫とセックスをしている。
- ・嫌いと思っている男と夢の中で、素敵なセックスをしている。
- ・夢の中で官能的なセックスを体験する。
- ・夫とセックスをしている。ふと見ると自分の足がない。
- ・男にやさしく抱かれている。安心感を感じている。
- ・妻とセックスをしている。顔を見ると別の女性だった。
- ・女性とセックスをしていると、母がみていた。
- ・夢の中の夢で、ある女性とセックスをしてその女性の名前をつぶやく、夢の中で目を覚ますと隣に別の女性が寝ていたの、まずい、困ったと思ってあわてていたら、実際に目が覚めた。隣には妻が寝ていたのでびっくりする。
- ・男に抱かれて歓びに浸っていると、突然その男が自分の首を締める。
- ・汚いトイレの中で男性とセックスをしている。
- ・男とセックスをしていると、いつのまにか自分が男になっていた。
- ・夫とセックスをしている。ふと気が付くと夫ではなく父親だった。
- ・母親とセックスについて話をしている。母親は私（女性）だった。
- ・バスの中でセックスしていると3人の赤ちゃんが産まれた。それぞれ違う男の子どもである。
- ・紫色の照明の中で自分は網タイツをはいてパニーガールをやっている。

この夢をみたら、この解釈というわけではなく、今までに報告された夢の流れ、その夢の前後の文脈、夢の中で味わって感情、夢見者の連想などをもとに、二人でいろいろ話合っていくうちに、その人の“性”にたいしての姿勢が明らかになっていく。今まで性について他人とまじめに話をしたことがない人がほとんどで、始めのうちはとまどいがあるが、“夢”を媒介にして話をしていくと、自分の“性”について距離をおいて話すことができるようになり、“性”は自分にとって大切なこととして、真剣に考え、性にたいして自分を開いていくことができるようになる。

そして、

- ・親の性にたいする否定的な価値観に縛られていて、自分の性を体験できない。
- ・子どもが産まれると、夫と妻は父親と母親になってしまい、男と女として性的な関係をもたなくなる。特に女性は子育て中心となり、夫を子どもの父親としかみなくなる。
- ・女性が性に対して積極的な姿勢をとってはいけなと思っています。男性が性に対して積極的な場合、英雄色を好む、甲斐性がある、千人ぎりなど肯定的な表現があるが、女性の場合は淫売、売女、腰軽など否定的な表現しかない。

- ・結婚したら妻にとって夫とのセックスは義務である。夫の排泄の対象として自分をとらえている。
- ・女性は性に関して受け身でなければならない。
- ・親から精神的に自立できず、夫婦の関係が親子関係になってしまう。
- ・身体的コンプレックスがあって、性的な関係がもてない。
- ・性的な関わりをもっているとき、自分の身体的感覚よりも、相手が自分をどう思っているかが気になる。
- ・性に関して、お互いに話し合うことができない。
- ・感じているふりをしなければ、相手に悪いと思ってしまう。
- ・自分はセックスに興味がないと思っていたが、実際はそうでなかった。
- ・妻、夫以外の異性とのセックスに罪悪観がある。
- ・愛していたら、セックスするはずだ、または愛していたら簡単にセックスにはならないはずだというような考えに縛られて、相手がみえない。
- ・つきあっている男性から嫌われたくないのでセックスする。
- ・歳をとったら、性について考えたり、口にしたりするの恥ずかしい。

など、性に対して、世間的常識、親の価値観で何となく“性とはこういうものだ”と思い込んでいたことに気づき、自分にとっての性という視点をもつことができるようになる。また性には心理的な個人差、身体的な個体差があるので、それぞれ自分が自分の心と身体に耳を傾けることが必要で、それについて相手とも話し合うことはヘンなことではなく、大切なことであると思えるようになる。そして、自分なりの性意識、性体験をもてるようになり、かかえていた問題を解決できるようになる。

書 評

日本性科学体系Ⅱ 性機能障害と未完成婚

長田尚夫 齊藤宗吾 山崎高明 フリープレス 1997 139頁 9,000円

性機能障害と未完成婚という本が日本性科学体系Ⅱとして1997年11月に出版された。男性性機能障害で多いのは勃起障害で長田先生の泌尿器外来を訪れた人の84.3%（ページ53）に当たるといふ。これほど多くの人が困っているのに、10数年前までは泌尿器科ではまともに取り上げてもらえなかった。著者である長田尚夫・齊藤宗吾・山崎高明先生は早くから、性機能障害がQOLにとって最重要の課題であることを認識され、地道に科学的に性機能について研究を続けておられた。この本はその成果を読みやすくまとめて、性機能障害と未完成婚について、診療・治療とその実際を述べた教科書である。最近の薬物治療は含まれていないが、長田先生は「日本性科学会ニュース17巻2号」にそれを書かれているので併せてお読みになってほしい。

結婚初夜から始まるインポテンス（齊藤先生は初めて新婚インポテンスという言葉を作成された）、それを含む未完成婚の研究は今までは、まさに小舟で大海を航海するようなものであった。齊藤先生は新婚インポテンスとパーソナリティが深く関係していることを見だし、独自の分析方法を考案している。

山崎先生は未完成婚について広く深く研究・発表しておられ、疾患のみならず性治療の進むべき方向もこの本の中で示唆している。多くの症例を見ると未完成婚の予防や人生におけるセクシュアリティの重要性を当人たちが認識することが必要である。そのような場合には早く専門家に相談すべきことや時には必要なことがよく分かる。

この本を拝見して、性機能障害の治療は小舟ではなくて安全な大きな船で航海できる時代が来つつあることを感じる。

（日本性科学会理事長 野末 源一）

愛せない理由—ドキュメント 性カウンセリング

大川玲子著 法研 1998 225頁 1,200円

著者は「はじめに」で、この本を著した動機を「全ての女性に、性を自分のものとしてとらえていただきたく、このドキュメントは伝える価値があると思い、出版することにした」と述べています。性で悩む女性のみならず、全女性へのこ

の著者の思いと、性への肯定的な態度がこの本の特徴です。性行為を、男性へのサービスではなく、自然な欲求に基づく、男女双方の快感の共有と位置づけ、それを妨げるものの本質を、説明し、取り払おうと呼びかけているのです。その邪魔するものは、従来の男性優位の価値観に基づいた女性の自己規制であったり、様々な性の神話であったり、またセックスのタブー視であったりするわけです。それらを打ち破ろうとしていると書くと、フェミニズムの理屈っぽい本かと思う方もおられるでしょう。実際は具体的な患者さんの悩みを取り上げ、非常に歯切れ良く、読みやすいのです。それは様々な研究に触れながらも、表やグラフが一つも使われていないことにも表れています。

また女性の立場に立つと、とかく男性に過剰に批判的であったり、恨みがましくなりがちですが、そうではなく、女性に共感しながらも、望むことがあるならまず女性がしっかり声を上げるべきだ、と女性を励ます態度に好感が持てます。それは女性および人間への信頼感に裏付けられた態度と思えます。(ただし、「あなたに似た人」という、ロアルド・ダールの短編集と同じタイトルの序章のタッチは、私の個人的好みから言えば、少々くだけ過ぎというか、婦人雑誌的というか、惜しい気がします。)

ドキュメントとの副題が示すように、著者の豊富な性治療の体験が上手にならべられているので、これを読めば、女性の性に関する悩みが殆ど網羅されており、原因、解決法が示されています。当然ながら、性治療の方法も述べられており、性の問題に悩む女性やそのパートナーにとっても大いに助けになるでしょう。また、さしあたり性の問題を抱えているわけではないが、性のことをもっと知りたい、あるいは自分の性をより豊かにしたい女性や、女性をよりよく理解したい男性にとっても非常に参考になるはずです。読み終わって、こうした本の男性版が表れて欲しいと感じました。

また著者は自分の治療の中で感じたこと、考えたこと、そして迷いや自分の治療のポリシーの変化等についても、非常に率直にのべています。きっと性治療を受けたい人の不安や、一般の人の性治療を胡散臭く思う気持ちを一掃してくれるでしょう。

(日赤医療センター 金子 和子)

アジア性科学会のお知らせ

5th Asian Congress of Sexogy

25-27 Nov. 1998, Seoul Korea

Secretariat: The Severance Institute of Andrology,
Yonsei University college of Medicine

演題はすでに、〆切られております。

お問い合わせは日本性科学会事務局まで。

なお 2000 年の第 6 回大会は日本で開催の予定です。

名簿作成中

7 月、日本性科学会会員に「日本性科学会名簿作成ご案内」を郵送し、返信葉書に必要事項をご記入の上、返送をいただくようお願いしました。その返信葉書の記入事項に基づき、事務局では名簿作成を急いでおります。まだ返信葉書をご返送いただいていない場合は、大至急ご返送いただきますようお願い申し上げます。

尚、ご返送いただけない場合は、入会の際に御提出いただきました入会申込みカードを参考にして、記載させていただきます。

会費納入のお願い

10 月より新しい年度(平成 10 年 10 月 1 日～平成 11 年 9 月 30 日)に入りますので、平成 11 年度会費 15,000 円の納入を、よろしくお願いいたします。手数料が無料となります、会の郵便振替用紙を同封しますのでご利用下さい。